

電子計算機用プログラミング第12回シンポジウム日程

1月12日 午前11:00~12:15 Session A

- ① 山内委員長：開会のあいさつ
- ② 和田英一(東大工), 戸川隼人(航技研)：グラフィックディスプレイシンポジウム報告(11:05~11:25)
- ③ 高橋栄(日立)：ヒドレラインアルゴリズムとデータ構造(11:25~12:15)

午後 1:40~5:30 Session B

- ① 井上謙蔵(富士通)：コンパイラ作成自動化の諸方法(1:40~2:40)
- ② 二村良彦, 西野秀毅, 吉村一馬(日立中研)：PL/IWによるTSS用コンパイラコンパイラの作成(2:40~3:10)

— 休 憩 —

- ③ 下村建之, 藤野喜一(日電中研)：コンパイラ自動作成の1実験(3:40~4:10)
- ④ 井上謙蔵(富士通)：右順位文法に対する構文解析プログラムの発生(4:10~4:40)
- ⑤ 渡辺坦(日立中研)：問題向き言語に対する意味論的メタ言語とそのコンパイラ(4:40~5:10)
- ⑥ 渡辺勝正(京大工)：Compiler Generatorへの入力データ(5:10~5:30)

午後 7:00~9:00 <自由討論>

1月13日 午前 9:00~12:00 Session C

- ① 淵一博(電総研), 土井範久(慶大)：オペレーティング・システムズ・シンポジウム報告(9:00~9:50)
- ② 島内剛一(立大理), 広瀬健(早大理工), 佐久間紘一(京大数理研), 福田康夫(東芝), 志村雄雄(日科技研)：ALGOLコンパイラにおける最適化について(9:50~10:20)
- ③ 牛島和夫(九大工)：利用者の立場からのコンパイラテストプログラム — 特に式の評価順序の検査を中心として — (10:40~11:10)
- ④ 西村恕彦(電総研)：コボルの検定(11:10~11:35)
- ⑤ 加藤宏, 大附辰夫(日電中研)：FORTRANライブラリ関数検定システム(11:35~12:00)

午後 1:30~5:30 Session D

- ① 伊藤哲史(情発センター)：システム記述用言語 PLDの使用経験と問題点(1:30~2:00)
- ② 中田育男, 浜田穂積, 霜田忠孝, 野木兼六(日立中研)：増殖型言語 SELFについて(2:00~2:30)
- ③ 島内剛一(立大理), 和田英一, 寛捷彦(東大工), 高橋義造(東芝), 四条忠雄(日科技研)：システムプログラム記述用言語 D3 2, D3 4 の試作(2:30~3:00)

— 休 憩 —

- ④ 浅井清, 稲見泰生, 藤村統一郎(原研)：変形 PL 360 言語の文法とコンパイラ(3:30~3:50)
- ⑤ 清水公子, 中川雅子, 石田晏穂(東大物性研)：コンパイラ記述言語の一つの試み(3:50~4:10)
- ⑥ 野下浩平, 雨宮真人(通研)：機械独立なコンパイラの一構成法(4:10~4:40)
- ⑦ 伊藤公一, 増田竜彦(東芝)：COBOLコンパイラ記述言語(4:40~5:10)

午後 7:00~9:00 <自由討論>

1月14日 午前 9:00~12:00 Session E

- ① 若手の会世話人：若手の会報告(9:00~9:20)
- ② 若月宏, 岡本礼子, 石崎靖敏(日電)：回路網逐次近似プログラムについて(9:20~9:40)
- ③ 石黒美佐子(原研)：有理式の数式処理のための標準型(9:40~10:00)
- ④ 木村泉(東教大)：Turning機械設計のためのプログラミング用語(10:00~10:30)
- ⑤ 石井成望(東大工)：堀川甫, 阿部行信, 浦野由多加(富士通)：音声識別の一方法(11:00~11:30)
- ⑥ 高田勝, 大槻説乎, 工藤和彦(九大工)：人工の感覚器を持つ電算機のプログラム(11:30~12:00)
- ⑦ 山内委員長：閉会のあいさつ

なお時間の都合により下記の2件は自由討論の時間に採りあげさせていただきます。

- 高沢嘉光(東大工), 酒巻恒一, 山崎信雄(日電)：図形処理用言語(12日夜)
- 長谷部紀元(東大理), 田場和弘(東大大型センター), 国井利泰, 高橋秀俊(東大理)：Machine IndependentにSystem Programを記述する一つの試み(13日夜)

本 PDF ファイルは 1971 年発行の「第 12 回プログラミング・シンポジウム報告集」をスキャンし、項目ごとに整理して、情報処理学会電子図書館「情報学広場」に掲載するものです。

この出版物は情報処理学会への著作権譲渡がなされていませんが、情報処理学会公式 Web サイトの https://www.ipsj.or.jp/topics/Past_reports.html に下記「過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について」を掲載して、権利者の検索をおこないました。そのうえで同意をいただいたもの、お申し出のなかったものを掲載しています。

過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について

情報処理学会発行の出版物著作権は平成 12 年から情報処理学会著作権規程に従い、学会に帰属することになっています。

プログラミング・シンポジウムの報告集は、情報処理学会と設立の事情が異なるため、この改訂がシンポジウム内部で徹底しておらず、情報処理学会の他の出版物が情報学広場 (=情報処理学会電子図書館) で公開されているにも拘らず、古い報告集には公開されていないものが少からずありました。

プログラミング・シンポジウムは昭和 59 年に情報処理学会の一部門になりましたが、それ以前の報告集も含め、この度学会の他の出版物と同様の扱いにしたいと考えます。過去のすべての報告集の論文について、著作権者（論文を執筆された故人の相続人）を探し出して利用許諾に関する同意を頂くことは困難ですので、一定期間の権利者検索の努力をしたうえで、著作権者が見つからない場合も論文を情報学広場に掲載させていただきたいと思います。その後、著作権者が発見され、情報学広場への掲載の継続に同意が得られなかった場合には、当該論文については、掲載を停止致します。

この措置にご意見のある方は、プログラミング・シンポジウムの辻尚史運営委員長 (tsuji@math.s.chiba-u.ac.jp) までお申し出ください。

加えて、著作権者について情報をお持ちの方は事務局まで情報をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

期間：2020 年 12 月 18 日～2021 年 3 月 19 日

掲載日：2020 年 12 月 18 日

プログラミング・シンポジウム委員会

情報処理学会著作権規程

<https://www.ipsj.or.jp/copyright/ronbun/copyright.html>